

平成30年度緩和ケア研修会

緩和ケアの本質とは？

～スピリチュアルケア、医療者自身の心のケア、
死から生といのちを考える～

講師：高宮有介 先生

昭和大学医学部 医学教育学講座 教授

Profile

高宮有介 (たかみや ゆうすけ)

昭和大学医学部 医学教育学講座 教授

1985年 昭和大学医学部卒業、同外科学教室入局

1988年より英国ホスピスにて研修

1992年 昭和大学病院緩和ケアチームに専従

2001年 昭和大学横浜市北部病院緩和ケア病棟に専従

2007年 医学教育推進室に専従。緩和ケアで学んだ心のケア、コミュニケーションを昭和大学および全国の医療系学生や医療者に伝えてきた。

2015年 日本緩和医療学会 大会長

「大学病院の緩和ケアを考える会」代表世話人、日本ホスピス緩和ケア協会理事、日本緩和医療学会代議員、日本死の臨床研究会常任世話人。

長岡赤十字病院やあそかピハール病院の緩和ケアの相談役を務める。

著書：『がんの痛みを癒す』（小学館）、『臨床緩和ケア』（青海社）など。



● 日 時：2018年 10月17日 水
18:30～20:00

● 場 所：国立病院機構岡山医療センター
西棟8階 大研修室

● 対象者：院内全職員・院外医療関係者

日本医師会生涯教育講座 CC81（終末期のケア）1単位

主催：緩和ケア対策室